

国際連合

ガザ

The Weapons exhibition
for Genocide in GAZA

虐殺兵器展

10.16 Protest

大抗議

2024年10月16日(水曜日)

11:00 ゆりかもめ 東京ビッグサイト 駅改札外に集合

11:15 ~ 13:00 国際航空宇宙展会場の東京ビッグサイト前で抗議行動

主催 国際航空宇宙展を虐殺兵器展にするな!キャンペーン

大抗議にご参加ください!

10月16～19日、有明の東京ビッグサイトで6年ぶりに「国際航空宇宙展」が開催されます。「航空宇宙」と銘打っていますが、とりわけ海外ブースは事実上の武器見本市であり、国内外の名だたる軍需企業が出展リストにその名を連ねています。

前回2018年にも出展していたイスラエル最大の軍需企業エルビット・システムズが今回も出展を予定しています。また、6月20日に出された国連の専門家30人による声明で、イスラエルの国際人道法・人権法違反に加担していると名指しで批判されたBAEシステムズ、ボーイング、ジェネラル・ダイナミクス、ロッキード・マーチン、RTX(旧レイセオン)などの欧米軍需大手も出展しようとしています。

フランスですら、6月にパリで開催された国際武器見本市「ユーロサトリ」で、イスラエル企業の出展を禁止しました。戦争を放棄した憲法9条と世界の人々の平和的生存権を守ると誓った憲法前文を持つ日本で、まさに今、最低でも4万人を超えた大虐殺に武器を供給中の「死の商人」たちに商機を与えることは許されません。

私たちは、会場の東京ビックサイトの目の前で、抗議行動を行います。現在進行形のガザ大虐殺で使われている武器やテクノロジーを見せびらかす見本市に反対し、パレスチナと世界の解放を求めて、ともに声を上げていきましょう!

署名の拡散を!

国際航空宇宙展を虐殺に加担させないために、Change.orgを用いたオンライン署名をスタートさせました。

宛先は、中村知美・日本航空宇宙工業会会長、防衛大臣、外務大臣、経済産業大臣です。10月初めに宛先の四者に提出します。ぜひご賛同のうえ、拡げてください!

<https://www.change.org/noheikiten>

1. 日本政府・防衛省は虐殺への加担となるイスラエル製攻撃型ドローンの輸入を中止し、日本イスラエル経済連携協定共同研究の中止などイスラエルへの制裁を実施すること
2. 日本政府および日本航空宇宙工業会は、フランス政府にならって、イスラエルおよび欧米の虐殺加担企業の出展を禁止すること
3. 防衛省、外務省、経産省は、ジェノサイドに加担する国際航空宇宙展への後援を出さないこと
4. 日本航空宇宙工業会は、海外ブースが武器見本市と化している国際航空宇宙展のあり方を抜本的に見直し、憲法9条にふさわしいものに改善すること

署名の締め切り：9月28日(土)



賛同のお願い

「国際航空宇宙展を虐殺兵器展にするな!キャンペーン」とは、10月に東京ビッグサイトで開催される「国際航空宇宙展」へのイスラエル軍需企業や、パレスチナ虐殺に武器を供給している欧米の加害企業の出展阻止をめざすグループです。

同展の開催に向けて、署名・講演会・直接抗議行動など、さまざまな行動を行っていきます。ぜひ、キャンペーンへの賛同をお願いします。賛同費はチラシやリーフなどの制作費、集会の会場費などに充てます。

賛同費 個人 一口 500円/団体 一口 1,000円/ともに、複数口も歓迎します。

振込先 郵便振替口座番号 00140-4-486789

加入者名 武器輸出反対ネットワーク ※通信欄に、必ず「NO兵器展賛同」と記入してください。

[連絡先] TEL 090-6185-4407(杉原) メール info@noheikiten.shop